

ERE information

Vol. 13 2008年2月8日発行

発行 / 特定非営利活動法人 日本経済学教育協会・事務局 発行責任者 / 松崎 英樹
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号 / 電話 03)3267 - 4819 / e-mail:info@ere.or.jp

Contents

- ▶ 出題科目・試験時間の変更について
 - ▶ 修士課程一般入試における筆記試験免除 / 早稲田大学
 - ▶ 第13回 E R E (経済学検定試験) 試験結果
 - ▶ 最近の E R E 活用動向
 - ▶ 「創価大学経済学理論同好会」初優勝! / 大学対抗戦
 - ▶ 事務局からのご連絡 (第14回 E R E 実施要綱・他)
-

▶ 出題科目・試験時間の変更について

2008年7月6日(日)実施の第14回の検定試験より、現行の『ERE』『EREミクロ・マクロ』におきまして、試験科目・試験時間が下記のとおり変更となります。

出題科目の一部廃止 (E R E)

現行の7科目から、「時事経済」(出題数10問・配点100点)の科目を廃止し、「ミクロ経済学・マクロ経済学・財政学・金融論・国際経済・統計学」の6科目構成になります。これにより7科目 100問 1000点満点から、6科目 90問 900点満点に変更いたします。なお、試験時間・受験料については変更ありません。

これは、EREは経済(系)学部における、経済学の基本的な理解・知識を個々の科目試験によって判定していますが、「時事経済」は科目横断的な設問となっていることよりこれを廃止し、EREのすべての科目をそれぞれ履修科目の習得度を個別に問う試験問題とするものです。

試験時間の変更 (E R E ミクロ・マクロ)

現行の90分の試験時間を10分延長し、100分に変更いたします。なお、受験料については変更ありません。

▶ 修士課程一般入試における筆記試験免除 / 早稲田大学

早稲田大学大学院経済学研究科では、2009年度の入学試験より、修士課程一般入試において、ERE(経済学検定試験)の成績について一定の条件を満たした場合、経済学の筆記試験を免除することが決まりました。

詳細は2009年度入学試験要項(2008年6月中旬HP公開予定)においてご確認ください。

http://www.waseda.jp/seikei/gse/2007_release/2008Keiken_WebPamphlet.pdf

▶第13回 E R E（経済学検定試験）試験結果

2007年12月2日(日)に実施いたしました、第13回「E R E / E R Eマイクロ・マクロ」の成績結果等がまとまりましたので、発表いたします。今回の成績概要は次表のとおりですが、全体の平均につきましては、「E R E」が468.3点（前年同期比+2.1点）、「E R Eマイクロ・マクロ」が197.8点（前年同期比+30点）と昨年12月実施の結果と比較し、「E R Eマイクロ・マクロ」において18.6%得点がアップしたのが目立ちました。なお、前回との比較については、下記資料をご参照ください。

《資料1-1》科目別成績

『E R E』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学	時事経済
配点	250点	250点	100点	100点	100点	100点	100点
平均点	127.7点	124.8点	47.1点	45.4点	34.5点	32.5点	56.5点
(前回)	105.0点	104.5点	51.7点	44.7点	40.9点	37.7点	47.1点
標準偏差	42.09点	48.32点	20.98点	21.38点	17.05点	19.62点	18.13点
(前回)	44.07点	41.26点	26.97点	18.23点	19.11点	21.90点	21.32点

《資料1-2》

『E R Eマイクロ・マクロ』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学
配点	250点	250点
平均点	99.8点	98.0点
(前回)	93.3点	97.6点
標準偏差	34.24点	34.99点
(前回)	34.04点	34.98点

《資料2》成績概要

	E R E	E R Eマイクロ・マクロ
応募者数	228名	1,469名
受験者数	155名	1,163名
平均点	468.3点	197.8点
標準偏差	137.31点	60.05点
最高得点	800点	450点
最低得点	100点	50点

《資料3》団体別応募状況

E R E / E R Eマイクロ・マクロ			
①東京国際大学	129名	⑬高崎経済大学	33名
②大阪府立大学	127名	⑭明治大学	33名
③中央大学	92名	⑮早稲田大学	31名
④明治学院大学	86名	⑯立命館大学	27名
⑤明海大学	73名	⑰琉球大学	26名
⑥久留米大学	69名	⑱福島大学	24名
⑦成蹊大学	54名	⑲弘前大学	21名
⑧創価大学	43名	⑳東洋大学	21名
⑨法政大学	40名	㉑京都大学	20名
⑩九州産業大学	38名	㉒宇都宮大学	19名
⑪長崎県立大学	37名	㉓姫路獨協大学	19名
⑫日本大学	37名	㉔埼玉大学	17名

②⑤慶應義塾大学	16名	③④熊本壺溪塾学園	11名
②⑤広島経済大学	16名	③④群馬大学	11名
②⑦広島修道大学	15名	③④武蔵大学	11名
②⑦大分大学	15名	③⑦和歌山大学	10名
②⑨一橋大学	14名	③⑦沖縄大学	10名
②⑨香川大学	14名	③⑦岩手県立大学	10名
②⑨酪農学園大学	14名	③⑦大阪商業大学	10名
③⑩神奈川大学	12名	③⑦大阪法律専門学校	10名
③⑩福岡カレッジ・オブ・ビジネス	12名		

《資料4》ERE上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名（敬称略）	ランク
1	東京大学大学院	公共政策大学院	竹中 理登	S
2	熊本壺溪塾学園	公務員専攻科・大学受験科	矢住 勝大	S
3			横田 知大	A+
3	早稲田大学	政治経済学部	森本 晃司	A+
5	和歌山大学	経済学部	佃 直樹	A+
6	日本数学協会		瀬川文司郎	A+
7	立命館大学	経済学部	平松 尚也	A+
7	一橋大学	経済学部	三上 裕介	A+
9			田中 翔太	A+
10	東北大学	経済学部	君和田貴也	A+
11	ブラザー工業	財務部	原田 峻平	A+
11	早稲田大学	政治経済学部	佐藤 力	A+
13	中京大学	経済学部	杉浦 一輝	A
13	早稲田大学	政治経済学部	是枝 俊悟	A
13	上智大学	経済学部	日比谷 篤	A
16	黒崎播磨		俣野 泰司	A
17	立命館大学	経済学部	大嶺 雅也	A
17	創価大学	経済学部	佐々木広夢	A
17	一橋大学	経済学部	(非 公 開)	A
17			清水 邦敏	A
17			小野寺直喜	A
22	大阪教育大学	教育学部	大茂 誠明	A
22	中央大学	経済学部	大畑 勇輔	A
22	一橋大学	経済学部	大崎 紘尚	A
25	早稲田大学	政治経済学部	北山 祐作	A
26	中央大学	経済学部	市田 航	A
26			飯塚 啓介	A

《資料5》 EREミクロ・マクロ上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名（敬称略）	ランク
1	創価大学	経済学部	小島 健	S
1	創価大学	経済学部	三田 光洋	S
3	京都大学	理学部	郭 瀟笑	S
4	小樽商科大学	商学部	小暮 祐一	S
4	京都大学	文学部	荒木 勇樹	S
6	創価大学	経済学部	高岡 正法	S
6	日本大学	経済学部	佐藤 憲一	S
8	東京大学	農学部	宮川 侑子	S
8	東京都立大学	経済学部	吉田 素規	S
8	早稲田大学	政治経済学部	佐野 槇一	S
8	京都大学	経済学部	平石 章	S
8	長崎大学	経済学部	宅島 佑太	S
8	久留米大学	経済学部	小山 大輔	S
14	中央大学	経済学部	佐藤 篤史	A+
14	早稲田大学	政治経済学部	十川 明德	A+
14	立命館大学	情報理工学部	宮野 友輔	A+
17	筑波大学	社会工学類	塚田 憲史	A+
17	創価大学	経済学部	渡邊 鉄兵	A+
17	弘前大学大学院	人文社会科学研究科	天内 慎也	A+
20	高崎経済大学	経済学部	鈴木 慶春	A+
20	筑波大学	社会学類	甲斐 雅俊	A+
22	大阪商業大学	経済学部	石井 秀治	A+
23	福島大学	経済経営学類	林 曦	A+
23	早稲田大学	政治経済学部	武田 明典	A+
23	ケーアール工業	情報システム室	松沢 英明	A+
23	新潟大学	経済学部	橋本 尚美	A+
23	名古屋大学	法学部	河合 敦夫	A+
28	早稲田大学	政治経済学部	野崎 裕嗣	A+
28			稲葉 祐介	A+
28			嶋 宏一郎	A+
28	大阪商業大学	総合経営学部	樋口 昌俊	A+
28	広島修道大学	経済科学部	山崎 拓人	A+
28	西南学院大学	経済学部	馬場 俊明	A+

▶最近の E R E 活用動向

[活用の特色]

現在の E R E (経済学検定試験) の活用状況について、その特色は下記の 7 項目にみられます。

1. 一定ランク以上の成績取得を条件とした、大学院入試への一部代用の採用が続いていること。
2. 「大学院入試のための活用 (代用) 」を明確な受験目的とする学生が増え、上位者層を中心に試験結果の活用が活発に行われていること。
3. 就職活動において成績証明書等の提出を求められるケースが増えるなか、各大学においては、受験者に対して就職活動において成績結果を積極的に活用するよう指導しており、「採用決定」のニュースが各方面から寄せられてきていること。
4. 成績結果に応じた単位認定、受験対策等のカリキュラム導入の動きが新たに複数の大学で始まっていること。
5. 経済学の基本的知識を身につけている判断基準のひとつとして、成績 (取得ランク・偏差値) の活用が増えてきていること。
6. 過去問を利用した E R E 対策講座・公務員試験対策が各大学で活発に行われていること。
7. 向上心に富む学生を後押しするバックアップ体制 (受験料全額負担、学長表彰、学部表彰、報奨金制度など) が、各校で充実・拡大してきていること。

[大学院入試への活用]

各大学院の入学試験の一部代用導入を受け、成績結果の活用が上位者層を中心に活発に行われています。

現在は、小樽商科大学大学院・学習院大学大学院・拓殖大学大学院・一橋大学政策大学院・明治学院大学大学院・新潟大学大学院・大阪経済大学大学院 (一部) ・久留米大学大学院・桃山学院大学大学院において入学試験への一部代用導入をいただいております。2008年度より E R E の活用を始めた大阪府立大学大学院経済学専攻では、2010年度募集より、出題問題のうち、経済学研究科による共通問題の出題を取りやめ、『 E R E 』のミクロ・マクロの部分・『 E R E ミクロ・マクロ』の偏差値によってこれを代用することが決まっています (本誌 Vol. 12 参照) 。また、早稲田大学大学院経済学研究科においては、2009年度の入学試験より利用できることが決まっています (1 頁参照) 。

[単位認定としての活用]

成蹊大学・奈良産業大学・新潟産業大学・姫路獨協大学・明海大学では、一定以上の成績取得を条件に、ミクロ・マクロの科目別単位認定制度を実施しています。翌年度の実施に向けて、あらたに単位認定制度の検討を始めている大学も複数あります。

香川大学・長岡大学では、新カリキュラムに「 E R E / E R E ミクロ・マクロ」を導入。また、各大学において、積極的に受験を推奨・活用されているゼミの先生方も目立ちます。

《第8回大学対抗戦》

▶ 「創価大学経済学理論同好会」初優勝！

～強豪の「政治経済攻究会」(早大)は準優勝、「一橋大経済専攻会」が3位に

14大学1専修学校の20チーム計155名が参加し、日頃の努力の成果を競った第8回大学対抗戦(2007年12月2日実施)は、初参加で1,660点の高得点を獲得した「創価大学経済学理論同好会」チームが優勝を飾りました。第3回から第6回まで4連覇し、前回準優勝の「政治経済攻究会」チーム(早大)は1,560点で、100点差で前回に引き続き準優勝にとどまりました。共に初参加の「一橋大経済専攻会」チームは、1,410点を獲得し第3位に入りました。前回優勝の京大チームの連覇はなりませんでした。

個人賞は390点以上の11名が獲得し、トップは小島健さん(創価大学)の450点です。そして、優勝・準優勝チーム、個人賞獲得者の皆さんには、それぞれ協賛団体より副賞が授与されます。

第9回「大学対抗戦」は2008年7月6日(日)に実施いたします(7頁参照)。

順位	チーム名	ミクロ平均点	マクロ平均点	総合得点	平均点
優勝	創価大学経済学理論同好会 (創価大学)	205.0点	210.0点	1,660点	415.0点
準優勝	政治経済攻究会(早稲田大学)	200.0点	190.0点	1,560点	390.0点
3位	一橋大経済専攻会(一橋大学)	177.5点	175.0点	1,410点	352.5点

*参加メンバーの上位4名の総合成績です。

大学対抗戦 優勝チームからのコメント

「今回初参加でこのような結果を残せて光栄です。普段から勉強面で支えてくださった教職員の方々にとっても感謝しています。大学で比較的レベルの高い講義を受けられる環境にあったこと、後輩や同学年と連携したり、学生間で弱点を補ったりしながら協力できたことが結果に繋がったと思います。次回も是非参加させていただきますのでよろしくをお願いします！」

(創価大学経済学理論同好会)

個人賞第1位 小島 健さん

「このような素晴らしい結果を享受できて大変嬉しく思います。人生の師である創業者、学問の師である教授、両親、友人、お世話になった皆さまに感謝申し上げます。博學な皆さま、次回も競い合いましょう。」

(創価大学経済学部2年生)

第9回大学対抗戦参加チーム募集

第9回 大学対抗戦

第14回 ERE / ERE ミクロ・マクロ 2008年7月6日(日)実施

受付期間: 2008年4月21日(月) ~ 2008年5月23日(金) 消印有効

詳細: <http://www.ere.or.jp/taikousen/taikousen.pdf>

団体賞 賞品

『ダイヤモンド賞』

優勝チームには、表彰状と受験者全員に3,000円の図書カードを授与。副賞として、協賛のダイヤモンド社より受験者全員に「週刊ダイヤモンド」を半年間無料贈呈。

『経済セミナー賞』

準優勝チームには、表彰状を授与。副賞として、協賛の日本評論社より受験者全員に月刊誌「経済セミナー」を半年間無料贈呈。

個人賞

『日経賞』

日本経済新聞社より、日本経済新聞6ヵ月分の購読券と「やさしい日経経済用語辞典」を1冊無料贈呈。

『金融知力賞』

金融知力普及協会より、金融知力プログラムの初級通信講座「グラウンド・ステージ」の受講票を無料贈呈。

『FP(ファイナンシャル・プランナーズ)賞』

日本FP協会より、月刊誌『FPジャーナル』を半年間無料贈呈。

今までの参加校 (*印は第8回参加校)

青山学院大学 / 大阪大学 / *大阪商業大学 / 慶應義塾大学 / 九州大学 / *京都大学 /

*熊本壺溪塾学園 / *埼玉大学 / 上智大学 / *創価大学 / *高崎経済大学 / *中央大学 /

*筑波大学 / 東京大学 / 同志社大学 / *東洋大学 / *長崎県立大学 / 名古屋大学 /

名古屋経済大学 / 新潟大学 / *日本大学 / 福岡カレッジ・オブ・ビジネス / *一橋大学 /

*武蔵大学 / 山形大学 / *立命館大学 / 和光大学 / *早稲田大学 / (以上28校)

ERE 経済学検定試験 問題集

2008年7月受験用 3月中旬発売予定

第10回 ~ 第13回の試験問題360問と解答・ポイント解説を掲載

出題傾向の把握が可能

日本経済学教育協会 認定 経済法令研究会 編

A5判 320頁 予価2,100円(税込)

▶事務局からのご連絡

第14回 E R E（経済学検定試験）実施要綱

『E R E』実施要綱

実施回	第 14 回
試験日	2008年7月6日（日）
試験時間	午後1時00分～午後4時00分（180分）
受付期間	2008年4月21日（月）～2008年5月23日（金）消印有効
受験料	5,250円（税込）
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学／財政学／金融論／国際経済／統計学
出題形式	4 答択一式／90問，1 問10点，900点満点
持込品	受験票，筆記用具（HBの鉛筆，プラスチック製消ゴム），電卓（ただし，金融計算電卓，関数・メモ機能付は不可），顔写真付身分証明証（学生証・運転免許証・パスポート等）

『E R Eミクロ・マクロ』実施要綱

実施回	第 14 回
試験日	2008年7月6日（日）
試験時間	午後1時00分～午後2時40分（100分）
受付期間	2008年4月21日（月）～2008年5月23日（金）消印有効
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学（注）
受験料	3,150円（税込）
出題形式	4 答択一式／50問，1 問10点，500点満点
持込品	受験票，筆記用具（HBの鉛筆，プラスチック製消ゴム），電卓（ただし，金融計算電卓，関数・メモ機能付は不可），顔写真付身分証明証（学生証・運転免許証・パスポート等）

（注）『E R E』のミクロ経済学・マクロ経済学と同一問題です。

第15回 E R E（経済学検定試験）試験日程

『E R E』『E R Eミクロ・マクロ』

実施回	実施日	受付期間
第 15 回	2008年12月7日（日）	2008年9月22日（月）～10月24日（金）（消印有効）

《ご参考》

第13回 E R E 経済学検定試験 新規申込団体（団体申込）
 東北大学／福島大学／大阪府立大学／大分大学／琉球大学／札幌学院大学／東京国際大学
 第8回 大学対抗戦 新規参戦
 一橋大学／創価大学
 2008年度募集より大学院入試に E R E を導入
 学習院大学大学院／拓殖大学大学院
 2009年度募集より大学院入試に E R E を導入
 早稲田大学大学院